



やらまいか

例会日：毎週火曜日 12:30 例会場：豊川商工会議所
 会長：大岩一仁 幹事：夏目雅康 SAA：大島嗣雄 会報委員長：太田 稔
 事務局：豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoirc@sala.or.jp

本年度第 24 回 通算 1095 回 平成 21 年 1 月 13 日 (火) 晴

ゲスト 愛知県立豊川工業高等学校 学校長 竹本禎久さん 同校陸上部顧問 渡邊正昭さん
 ビジター (なし)
 出席報告 川淵啓治委員長

会員総数	計算会員数	本日の出席者数	本日の出席率	12 / 16 修正出席率
54 名	43+5 名	34 名	70.8 %	100 %

司会進行 大島嗣雄 SAA

会長の挨拶及び報告 大岩一仁会長



皆さん、こんにちは。昨日が成人の日で、この連休中に各地で成人式が行なわれました。豊川市は 11 日の日

曜日に行われたと今日の新聞にも載っていました。振袖姿の女性を 2~3 見かけました。今年平成 21 年なので、平成生まれの子供さんたちなんだとなぁと月日が経つのは早いものだと感じました。

10 日の土曜日に消防の出初式がありまして出席をして参りました。本当に寒くて、風が強くて、グラウンドのど真ん中に座って見学していました。風邪をひくかと思いましたが、会長をしているお陰か風邪はひきませんでした。出初式はキビキビとしてとても素晴らしかったです。昨年度の火事による消防車の出動件数が 69 件だそうです。救急車は 5700 件ぐらいだと報告がありました。会員の皆様も火の元と交通事故や健康には十二分に気をつけて頂きたいと思います。同じ日の夜、小野君が会長代理を務める、豊川文化協会の新年懇親会にも出席をして参りました。大変賑

やかに、市長さんはじめ多くの皆さんが出席をされていました。今後の豊川文化協会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

また、11 日には、都道府県対抗女子駅伝が京都で行なわれていたようで、テレビで放送されていたのを少し見ました。今日お越しの渡辺監督の教え子の豊川工業の生徒さんや先週来られた豊川高校の生徒さんも出場されていたようで、後ほど、渡辺監督の方から何かお話があればお願いしたいと思います。

それから、今日の例会プログラムにも載っていますが、今月 27 日の例会がはつもうで例会で、来月 2 月 3 日の例会は節分例会です。はつもうで例会は、毎年大勢の会員に出席してもらっています。今年も大勢の出席をお願いします。節分例会の方ですが、袴(カミシモ)を着て豆をまく節分祭の参加者が毎年少ないようですので、豆まきには、地元の保育園児や子どもさんも大勢来ます。私たち会員が幸せを願って豆をまきます。どうか会員の皆様方におかれましては、大勢の会員の皆様方に節分祭に参加して頂くことをお願いします。

幹事報告

夏目雅康幹事

次回例会について
 初詣で例会の参加について
 節分例会の参加について

全国高校駅伝大会出場の報告

豊川工業高等学校 竹本禎久校長

こんにちは。12月の時には激励金まで頂きましてありがとうございます。お陰さまで子ども達は



精一杯駅伝の方を走ることができました。本当にありがとうございました。また、本日は引き続きこのような会に参加をさせて頂きましてありがとうございます。本来ならば、色々な良い話を一杯報告をということではありますが、本校の陸上部も、昨日、新キャプテンが決まりまして、次へのスタートを切ったところでもあります。また今年一年始まった訳であります。ぜひ今年も応援の方をよろしくお願ひしたいと思います。

私自身が最近感じていることのひとつに、色々な地区の情報や学校を超えたところの交流があります。先日、東三河の中学校にアンケートを取らせてもらいました。つい先日、全部回収ができました。そのアンケートには、「中学校と高校が連携して教員同士で勉強ができないか」や「本校の生徒が教員をやって中学校の生徒に教える交流はできないか」という内容のアンケートです。この希望を取ったところ、40校の中学校から「是非に」という返事が返ってきました。これは非常にありがたい事で、これから豊川工業高校が、ある面で進むべき道なのかなと感じております。裏を返しますと、本校が逆に、ここにおられる皆様方から色々な情報、色々な技術、色々なノウハウをやはり頂くことが重要かと思ひました。どうしても学校の教員というのは、限られた狭い中で教育をしておりますので、もう一步広く考えて進めることができれば、もっと実のあるものなるかと感じております。そういう意味で、今年は出来るだけ多くの情報、地域との交流、そのようなものを表に出していきたいと考えております。

前回参加させて頂いた後に、2つほど良いことがありましたので報告させて頂きます。1つは、全国の機械製図のコンクールで本校の

生徒が最優秀賞を頂きました。日本で一番の賞を機械科の2年生が取りました。もう1つは、豊橋市の高校生生技術アイデア賞がはじまり4年目ぐらいだと思いますが、なかなか最優秀賞が狙えないでいました。しかし、今回100件を超える応募の中から、本校の生徒が最優秀賞を頂きました。これは、車椅子をモデルにして乗って楽しいという気持ちになるような車を作りました。作製には教員が若干手伝いましたが、ほとんど1人の生徒が1から作り上げたものであります。これについても嬉しい結果で、12月に表彰式に行きまして、本校の今目指す道の中で、部活動は勿論であります。部活動ともう一つは、根気強くものづくりをするということであるかと思ひます。前回にもお願いをしましたが、是非、本校の子ども達を使って頂きたいと思ひます。ボランティアであったり、物づくりの講習であったり、色々な場には是非ひっぱり出して頂きたいと思ひますし、本校の子ども達も、そのようなことを望んでおります。今年、私は本校就任して2年目になります。もっとも表に出て行きたいと思ひます。世の中、苦しいときがチャンスと言ひます。そういう気持ちで頑張っていきたいと思ひます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝をお祈りいたしまして、簡単ではございますが、御礼のご挨拶とさせて頂きます。本日はありがとうございました。

陸上部顧問 渡邊正昭教諭

皆様、こんにちは。豊川工業高校の渡邊と申します。昨年暮れの全国高校駅伝出場に際しましては、



多くの皆様方からご支援を賜りまして誠にありがとうございました。目標でありました男子8位入賞、女子15位以内、この目標に対して大きく遅れてしまいまして、結果は男子14位、女子は30位でした。女子はアンカーに渡ったところで10番台でしたが、予想していた通りに抜かれまして、仕方ないなと思ひつつ、非常に辛い大会でした。それでも子ども達は、

それまでに出来る事はきちっとやって大会に出場してくれたと思います。あとの責任というか、思うような結果が出なかったことにつきましては、私自身がまたじっくり反省をしていかなければと考えております。

目標を達成することは、勝ち負けで言うと勝ちだとするならば、勿論そのなかで1番を取るということも大事かと思いますが、自分たちの立てた目標を達成するということがまず大事だと思っています。ですので、目標を達成するという意味では、今回は負けだと思えます。負けた原因というのを色々探してみるのですが、やはり負けた原因というのには「?(ハナ)」がたくさん付きます。こうしたら良かったのかな、ここが悪かったのかな、あそこでこうすれば良かったのか。そういう「?」がたくさん付きます。これはスポーツだけではないと思います。逆に目標が達成出来た時には、手ごたえがあります。これをやったから成果が出た、これを続けてきたから結果がでた、という成果がはっきりしてきます。ですので、今回思うような結果が出なくて、今現在も負けた原因を探しているんですが、見つかりません。これを一年間探しながらいくのかと思っています。例えば、今回、全国高校駅伝の2週間前に愛知県内の市町村駅伝がありました。一年前は、市町村駅伝が3週間前だったので良かったのですが、今回は2週間前でした。微妙な期間で多少迷いましたが、でも子ども達は地元への応援を受けて、声援を背に各市町村の代表で走れることは、またとないことですので、出させて頂きました。考えてみるとそれがいけなかったのかと思ってしまうのですが、とにかく色々原因があったのだと思います。キリがないことですので、ゆっくり考えていきたいと思っています。

それから、今日、タスキの裏に子ども達に寄せ書きをしてもらい持ってきました。これは全国駅伝の記念のタスキです。つまらないものではございますが、子ども達が御礼を込めて書きまし



たので、どこかに飾っておいて頂ければと思います。

年が変わって元旦には実業団のニューイヤ一駅伝がありました。そこでは、卒業生でコニカミノルタに行っている山田という選手、トヨタ紡織に行っている鷲見という選手が会場してくれて、実業団に行っている卒業生の子達も頑張ってくれました。また、2日・3日の箱根駅伝も本校の卒業生が5名走ってくれました。目立っていたのは、4区で区間新記録を出した早稲田大学の三田でしたが、全部で5名の子が走ってくれました。そして表面には出てきませんでしたが、優勝した東洋大学のチーフマネージャーも本校の卒業生で、チームを裏方で支えていたようです。東洋大学は箱根駅伝前に監督が退陣してゴチャゴチャしたチームで、そのマネージャーが相当プレッシャーを受けていたと思うんです。「学生が何をやっているんだ、マネージャーが何をやっているんだ」と言われてきたみたいなんです。ですから、電話をしたとたんに泣き崩れて、「ありがとうございました。ありがとうございました」と言っていました。彼も本校の卒業生です。

つい4日ほど前に、三田という卒業生が学校に挨拶に来てくれました。せっかくだから高校生に少し話をしてくれと言いました。部員の前で話をさせた訳ですが、自分の中学・高校時代の体験談を10分くらい話をしてくれました。高校生の時の体験を自分で話しながら、自分の話で自分が泣いて言葉に詰まって、「高校時代いい経験をさせてもらいました」と言ってくれていました。「辛いこともあったし、いい経験も出来たし、自分のベースになっている」と言ってくれていました。ですので、高校卒業して大学行ったり企業に行ったり、それぞれ頑張ってくれているんですが、高校の時に体験したことがある程度ベースになってくれて非常に我々としても嬉しいことだと感じておりますし、今後も高校生活の中で大事なことを伝えていけたら、卒業した後に彼たち彼女たちに影響を与えられるような、そんな指導ができたらいいなと思っています。

そして、一昨日、京都で都道府県対抗女子駅伝がありました。豊川高校の女子の生徒、そして本校の女子の生徒が、高校・一般の部で健闘してくれました。大会が終わった夜に、京都府の愛知県人会というに招かれました。

今まで京都府には愛知県人会というがなかったみたいで、出来て2年目だそうです。その会に出席してほしいと話がありまして、選手生徒たちは京都駅で挨拶をして帰りましたが、私は夜の部担当なのでご一緒させて頂きました。京都に住んで30年・40年という方が大勢みえました。それでも愛知県が走ってくると愛知県の応援をしてしまうと、今回も旗を持って沿道でたくさんの方が応援して下さいました。中には、一宮市出身の19歳の舞妓さんもみえて、彼女も応援してくれていたようです。京都でも愛知県の方々が頑張っておられるし、いつまでたっても郷土の愛知を応援してくれているんだと痛感致しました。ですから我々も、ただ自分たちの為だけではなくて、もちろん自分たちの成果をあげることが第一なんです、その結果周りの方々の励みになっているということも常々忘れずにいきたいと思っています。

そして、今週の金曜日から広島に入ります。広島では男子の都道府県駅伝があります。私は愛知県の陸上競技協会の駅伝部長を仰せつかっておりますので、男女の駅伝両方に行かないといけないので、今度は男子に行ってきます。男子は豊川高校の田中君、時習館の山本君、そして本校の2名、高校生は全員この地域の子です。中学生は豊田の子たちがいます。一般の実業団は、本校卒業生のコニカの山田、本校卒業生のトヨタ紡織の鷺見、トヨタ紡織の中尾、この3名を予定していましたが、山田と中尾がニューイヤーで故障したということで、もう1人トヨタ自動車が出してくれるということで、主力は東三河の子たちばかりです。女子もそうでした。彼らが広島で活躍することを期待しています。以前は一度、男子が都道府県駅伝で優勝したことがありますので、是非もう一度優勝をという目標で行って来たいと思っています。

最近ちょっと考えるがあります。今回、自分の中でいろいろと言訳を探しているところがあります。あれが悪かった、これが悪かったのではないかと、結果だけではないよって自分の中で言訳を作っています。でも、高校生に教えていく大事なことは何だろう、我々はどのようなスタンスで教えていけばよいのだろうかということ最近つくづく考えるようになってきました。深く考えるようになってきました。それは、我々がどこまでやってあげれば良いかっていうことなんです。そ

このところが非常に難しいです。子ども達に任せっぱなしでもダメでしょうし、我々が手を出しすぎてもダメでしょうし、どの辺が必要なのか、たしかに成果が出てくれば子ども達は自信を持つのかもかもしれません。促成栽培と言いますか、温室のような状態にして良い環境で良い状態で子ども達が一番良い状況を常に作ってあげる、これがはたして良いのかどうか、そんなことを最近よく考えます。ある程度、子ども達も失敗をしつつ、それを今後の糧にしながら成長していく方が良いのではないかと。たまたま先日、三田という卒業生が来て、そのことを話してくれたんです。彼は高校2年生の時にものすごく悩んだんですね、失敗して、貧血になったりして、でも私は黙って知らん顔して見ていました。こうすればいいよって言って直るのはわかっていたのですが、じっと何も言わずに見ていました。2年生の時には本当に悩んで悩んで、もう辞めようかと思うぐらいに悩んだそうです。そのことを話すとボロボロと彼は泣くんですね。だけれども、それがあって、今たくましさを身につけた。大学に行って、今度は自分でやっていかなければならないところになって、たくましさを身につけてくれたのではないかと思います。ですので、今の高校生の現場でも、どこまで言ってあげたらいいのか、非常に難しいことで、それをいつも悩んでいます。ここで子どもを助けてあげれば、子どもは何とかクリアする。だけれども、また同じ悩みが来た時に本人は誰かのアドバイスを待ってしまう。だから、そこは見て見ぬふりをして自分でクリアしていく、自分で悩みつつも壁を乗り越えていくという場面も必要だと思ふのです。その辺が非常に難しいです。一歩間違えるとガタガタと崩れてしまったり、一つ助けたことでぐっと自信をつけることもあります。その見極めが非常に難しいです。成果を出すだけなら、これしっちゃあダメ、これしなさい、これは良い、これはダメ、そうしていけば成果は出てくると思うんですね。一番手っ取り早い方法を我々は知っています。成果を出すための方法は知っています。だからそのようにすれば成果は直ぐに出るのかもかもしれません。出していないくせにと言われるかも知れませんが、ずっとやってきて段々とそれはわかってきました。だから、その方法でやっていけば成果が出て子どもは自信が付くのかもかもしれませんけれども、温室育ちみた

いになってしまって、温室の外に出れば、ちょっと風が吹けばパタッと倒れる。大雨が降れば、根っこから流されちゃう。そんな状況になるような気がします。ですので、最初は苗の間は可愛い可愛い育ててもいいのですが、ある程度外に出たら風に吹かれたり、雨に打たれたりしても流されないようにしないといけないと思うのです。そのためには何が必要かといえば、やはり根っこを強くしないといけない。雨が降っても流されないだけの根っこを、深いところまでの根っこが入っている、風が吹いても倒れないだけの根っこを作っていないと、その辺は本人が悩んだりして壁にぶつかったりして行く中で、段々と下に伸びていくもので、表に出ないものです。要するに心の部分ですよ、その辺を育てていく必要があるとつくづく感じています。ちょうど一年前のこの時期に、ある中学校に呼ばれて行きました。寒い日だったんですけども、その中学校に行く途中に、たまたま信号で止まっていたら、小学生の二人が横断歩道を挟んで立っていました。たぶん小学校4~5年生の子だと思います。片方の子はウォーマーという温かいコートを着ていました。ものすごい寒い日でしたからウォーマーを着ていました。もう片方の子は半そでに短パンだったんです。見るからに寒そうに見えました。この二人は仲が良いみたいで、ちょうど信号が青になって向かい合って横断歩道を渡って、真ん中辺りで少し喋ってすれ違って行きました。僕の目の前でした。その時思ったのです。風邪をひかないようにするには、どちらが良いのだろうか。僕らもそれを求めてずっとやってきているような気がします。その時だけ寒いから風邪をひかさないようにするには、たくさん着せた方が良いでしょう、でも将来的に風邪をひかない丈夫な子になるには短パンの子ですよ。ですから、その時の成果だけ見ていくと我々も間違えてしまう、先を見て子ども達がたくましく成長するような指導を求めていかないと考えております。少し言い訳のような話になってしまいましたが、今回の色々な体験をまた今後の我々の糧に致しまして、努力していきたいと思っております。今後ともご協力の程よろしくお願ひします。ありがとうございました。

ニコニコボックス

誕生日祝い
 近藤元重会員
 伊原良碩会員幸子夫人
 樫山修一会員晶子夫人
 青木恒義会員叔子夫人
 浅野 桂会員
 大沢茂樹会員桂子夫人
 度会尚志会員秀子夫人
 波多野四郎会員
 浅野 桂会員幹子夫人
 大島嗣雄会員久美子夫人
 結婚記念日祝い
 後藤文良会員ご夫妻
 伴 辰三会員ご夫妻
 事業所創業祝い
 山田久就会員 島田商会
 山城康司会員 (有)山城康司保険事務所
 入会記念日祝い
 浅野 桂会員
 岩瀬靖宏会員
 細井 勉会員
 廣田啓司会員
 樫山修一会員
 林 博宣会員
 その他
 大島嗣雄会員 誕生日を祝って頂き
 伊原良碩会員 "
 浅野 桂会員 "
 波多野四郎会員 "
 後藤文良会員 "
 度会尚志会員 "
 伴 辰三会員 結婚記念日を祝って頂き
 廣田啓司会員 事業所創業を祝って頂き
 山城康司会員 "
 岩瀬靖宏会員 入会記念日を祝って頂き
 細井 勉会員 "
 樫山修一会員 "
 林 博宣会員 "

会報担当者：太田稔会員、樫山修一会員
 このウィークリーは再生紙を使用しています。